



口蹄疫等の防疫対策を徹底しましょう！

韓国、中国など東アジア地域では、口蹄疫の発生が継続、また、ロシアや欧州ではアフリカ豚コレラが発生が継続しています。これからゴールデンウィークを迎えるに当たり、海外への渡航者も増えることから、国内へのウイルスの侵入リスクがますます高くなります。

◎畜産関係者は本病発生地域への渡航は可能な限り自粛して下さい。

なお、仮に渡航する際には以下の点に留意してください。

《海外渡航に当たっての留意事項》

- ①農場、家畜市場、と畜場等の家畜関連施設には立ち入らない
- ②動物との不用意な接触を避ける
- ③肉製品等は日本に持ち帰らない
- ④帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受ける

《帰国後の留意事項》

- ①帰国後一週間、衛生管理区域には立ち入らない
- ②海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域には持ち込まない

◎また、農場への病原体侵入を防ぐため、**不要な人の立入りや物の持込みをさせない**よう注意してください

韓国における口蹄疫の状況 (2018年3月以降)

京畿道(2件)

- ①3月26日 金浦(キンポ)市 豚 (A型)
- ②4月1日★ 金浦(キンポ)市 豚 (A型)☆

☆②は①の疫学関連農場(①から12.7km離れた場所に所在)
★OIE報告に基づき発生日を修正

●:発生日点

※発生日はOIE報告または韓国当局の公式資料に基づく



発生確認件数: 2件

A型: 2件

2018年4月9日現在
農林水産省動物衛生課

(韓国農林畜産食品部資料より)

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2016年1月以降の発生)

